

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年12月11日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年12月11日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【5号機タービン補機冷却系の熱交換器入口配管ベント一次弁の「開」固着について】 5号機タービン補機冷却系の熱交換器入口配管ベント一次弁について、閉操作を行ったところ、機構部が固着し、閉操作ができないことを確認。 当該弁については、通常「開」運用となっているため、系統機能には影響がないことを確認。 今後、弁の点検を実施予定。	GⅢ	12月6日
2	【5号機タービン補機冷却系の熱交換器入口配管ベント二次弁のシート漏えいについて】 5号機タービン補機冷却系の熱交換器点検後の使用開始時に5号機タービン補機冷却系の熱交換器入口配管ベント二次弁からのシート漏えい※を確認。 漏えい量は微量であり、系統機能には影響がないことを確認。 今後、弁の点検を実施予定。 ※シート漏えい: 弁内部の隙間から配管内部へ漏えいすること。	GⅢ	12月6日
3	【3号機 残留熱除去系ポンプ及び炉心スプレイ系ポンプのモーター軸受温度のデジタルレコーダ故障について】 3号機 残留熱除去系ポンプ及び炉心スプレイ系ポンプのモーター軸受温度のデジタルレコーダが故障したため、遠隔集中監視システムに「デジタルレコーダ状態 切断」警報が発生した。 当該デジタルレコーダは、現在、監視やデータ採取等に使用していない。 今後、撤去予定。	GⅢ	12月7日
4	【3号機タービン建屋上部のがれき撤去作業進捗状況撮影用ドローンの墜落について】 3号機タービン建屋上部のがれき撤去作業の進捗状況を撮影するため、ドローンを飛行させたところ、3号機原子炉建屋カバー東側に接触して墜落し、ドローンが破損した。 墜落による設備への影響なし。 今後、原因調査及び対策を実施。	GⅢ	12月5日
5	【6号機エリア放射線モニタCH29(タービン建屋 地下 復水脱塩装置室)の下限警報発生について】 6号機エリア放射線モニタCH29(タービン建屋 地下 復水脱塩装置室)の指示値が瞬時低下して下限警報が発生。 警報は瞬時に復帰し、指示値も正常に復帰しており、監視への影響がないことを確認。 今後、当該エリア放射線モニタの点検を実施予定。	GⅢ	12月9日